

こんにちは！！カンボジアから

Hello!! -letter from Mamiko Tanaka-

# ស្ទួស្ទួ!! -សំបុត្រពីម៉មីកូ តានាកា-

「スオッスダイ！！ ソンボット ピー マミコ タナカ」



カンボジアは雨季に入りました。

ついに雨季に突入。毎日、夕方～短時間ですが雨が降るようになりました。そして、雨季真っ只中になる前に…と思い、メコン川の中にある島(任地クラチェ州の一部)へ行ってきました！この島に住む人の約95パーセントは農業を営んでいます。その他、島から船に乗って対岸へ渡り、クラチェ州中心部で働いている人もいます。渡し船は一人1000リエル(約25円)で、15分ほどで対岸へ着きます。この島はカンボジアの田舎の風景で、時間がゆっくり流れるような素敵な村です。どこまでも広がる畑やこの島にしかないフルーツの木、島の全ての住居が高床式住居、そして家畜がたくさんいます。また、カンボジアのメコン川では、ベトナム人が水上で船を住居にして生活しているので、その様子も見ることができます。州の中心部と違って、何も無い村ですが、機会を見つけてこの村に遊びに行き、住民と定期的にかかわっていかようと思っています。(写真左:参照)

カンボジア号 NO. 9

2010・6・23

青年海外協力隊:カンボジア派遣  
田中真実子(大垣市立安井保育園)

mamikomima@hotmail.co.jp



～ベトナム人の水上生活～



「HELLO!!」

## \* 発達段階に応じた 保育展開の重要性を伝える \*

クラチェ州 クロン幼稚園 その8



クロン幼稚園には、3～5歳児の子どもが通園しています。日々の保育の中で、3歳児や4歳児担任の先生は5歳児担任の先生と同じことを子どもに要求する場面が、多く見られます。各年齢に応じた指導を展開することで、その発達段階にふさわしい子どもの成長が見られることを子どもたちの姿を通して伝えていきたいと思っています。

↑写真のように、円隊形を作るにしても、3歳児は教師の近くで小さい丸を作る、4歳児は男女に分かれて作る、5歳児は小集団で作る・・・などと、全年齢が経験することは同じでも、その目的が異なってくることが大切だと考えます。

## \* 丸太で遊具作り \*

ジャックフルーツの木を使って丸太の遊具を先生たちみんなで作りました！！スコップがない国・・・。鍬で、地面を永遠に掘るのは大変な作業でしたが、この遊具で毎日子どもたちが元気に遊んでいます！！



## カンボジアのいものシリーズ⑤「乗り合いタクシー」

私が首都プノンペンと、任地クラチェを行き来するときに使う乗り物です。



「トゥーリー」と呼ばれる乗り物で、3人掛けの席に4～5人で座ります。ワゴンタイプ14人乗りですが、20人くらい乗っています。また、写真のように、人だけでなく物も運ぶので、後ろのドアは開いたままのことが多く、舗装されていない道では土埃がすごく、鼻や口を布で覆わないと長時間の乗車は大変です。ちなみに、350km：20,000リエル(約500円)で乗車できます。



## カンボジアおもしろいものシリーズ③

### 「フルーツの王様ドリアン…の中身!!」

私が大好きなフルーツのひとつ、ドリアン。4月はマンゴーとドリアンの旬の時期で、たくさん食べました。ただ、ドリアンとお酒の組み合わせは悪く、実際にお酒とドリアンを一緒に食べて亡くなった人もいるそうです。外側のトゲトゲからは、想像できないようなクリーミーさが味わえます。私はポロンと中身が外せるくらいの硬さが好きですが、カンボジ



からは、想像できないようなクリーミーさが味わえます。私はポロンと中身が外せるくらいの硬さが好きですが、カンボジ

ア人はべっとりして手で持ちにくいよう

な柔らかさのドリアンを好んで食べています。フルーツの王様なので他の果物よりは高いですが、それでも1kg6,000リエル(約150円)で食べられます。オススメフルーツです♪



## カンボジアたべものシリーズ④

### ～チリンチリン♪～アイスクリーム屋さんの巻



鐘の「チリン」という懐かしいような音が聞こえてきたら、それはアイスクリーム屋さんの合図です。ココナッツなどのカンボジアのフルーツ3種を使ったアイスクリーム。



←1本500リエル(約13円)



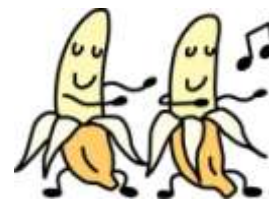
子どもがよく集まる場所に、アイスクリーム屋さんはよく現れます。「カレム、カレム、フカニャム、プラムーリエル」(アイスクリームだよ、おいしいよ!500リエル!!)

ひとくちクメール語!!

「ごはんを食べに行こう!!」

# ទៅញ៉ាំអាហារ!!

タウ(行く)・ニヤム(食べる)・バーイ(ごはん)!



6月21日は、私がカンボジアに来てちょうど1年経った日でした。こうやってこの1年を振り返ると、本当にあっという間の1年間だったように思います。1年前はわからないことや戸惑うことばかりで、葛藤もたくさんありましたが、今では、この生活にも余裕が出てきました。カンボジアでの不便なことを逆に楽しさに変えながら、活動も残り1年、元気に頑張っていこうと思います☆